



認め合い励まし合える2学期に向けて

校長 敦澤 雅規

39日間の夏休みがあっという間に終わり、2学期を迎えるました。1学期の終業式では「自分の成長にとっての大きなチャンスの夏休み」にしてほしいと話をしましたが、どんな夏休みだったでしょうか。1か月ちょっととはいえ、生徒たちに会えないのは寂しいもので、久しぶりに再会し、学校生活をまた一緒に送ることができることを、教職員一同嬉しく感じているところです。2学期は立川市民科防災の日や3年生の修学旅行に始まり、全校での合唱コンクールと、楽しみな行事が目白押しです。2学期も「生徒一人ひとりが目を輝かせ、ワクワクしながら笑顔で前向きに活動できる学校」を目指して教育活動に取り組んでいきます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【2学期始業式より】

39日間の夏休みが終わりましたが、「自分の成長にとっての大きなチャンスの夏休み」にすることはできましたか？

さて、みなさんはイチローという元プロ野球選手を知っていますか？日本でもアメリカのメジャーリーグでも大活躍した日本人選手で、メジャー通算で3089安打も放った人です。その人が今回、アジア選手初のアメリカ野球殿堂入りを果たし、7月28日に表彰式典が行われました。テレビやインターネットなどで見た人も多いと思います。今日はみなさんにその時のイチローの話を紹介したいと思います。



少年時代の夢はいつだってプロ野球選手になることでした。6年生の時、プロ野球選手になりたいと作文にも書いたことがあります。もし、今もっている知識を使って今日その作文を書き直すことができたら、夢ではなく、「目標」という言葉を使います。夢は必ずしも現実的ではありませんが、どうすれば実現できるかを深く考えれば、「目標」を達成することは可能です。夢を想像することは楽しいですが、「目標」は困難でチャレンジング（挑戦しなければならない）です。もし、貴方が何かに真剣に取り組みたいと思うなら、やりたいと言うだけではダメです。「達成するには何をしなければいけないか、厳しい目を持って真剣に考える必要」があります。夢を「目標」に変えるには、「目標」を達成するには何が大事なのか、自分に正直でなければいけません。

ちょっと難しかったかもしれません、何か感じることはありましたか？みなさんもこれまでに、夢や「目標」を立ててきたことがあると思います。それは今も続いているでしょうか？夢を達成するには、つまり「目標」を達成するのは、真剣に考え、それを続けていくことだということです。逆に言えば、真剣に考え続けていけば、「目標」は達成可能だと、イチローさんは伝えてくれたのだと思います。

2学期は毎日の学校生活はもちろん、合唱コンクールもあります。体育大会で築きあげたクラスや学年のチームワーク、友情、信頼を、認め合い励まし合いながら、さらに頑丈なものにして、あなたの目標を達成してほしいと思います。

3年生にとっては、中学校生活も残すところ、あと7ヶ月です。進路決定に向けて、悔いの残らないよう、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。1、2年生にとっては、いよいよ、みなさんが、この立川三中を動かしていく番になります。新しい生徒会役員の人たちが中心となり、三中の良き伝統を引き継ぎ、自分を信じ、仲間を信じ、認め合い励まし合いながら、生徒全員が三中生であることに誇りをもてるような学校を創ってほしいと強く願っています。2学期も楽しく過ごしましょう！

